

ビルクリーニング

■内 容

この競技では、オフィスビルの事務所を想定した弾性床の清掃と机上の清掃を行います。

指定時間内にあいさつからゴミ箱の処理、床面の掃き、拭き、机上拭きなどのビルクリーニング業務に必要な基本作業を行い、作業の効率、資機材の取扱、清掃の正確性を競います。

＜競技手順＞作業準備→あいさつ→ゴミ処理→ゴミ箱のセット→いす・ゴミ箱を机上の上に置く→ダストモップによる除塵→小型ほうき、文化ちりとりによるゴミ回収→モップによる拭き作業→タオルによる机上拭き作業→あいさつ→後始末→終了

■見どころ・審査のポイント

- 資機材の取扱は適正か
- ゴミ箱の処理は正しいか、また、いすの上げ方は適正か
- ゴミを踏まずに取り残しの無いように作業しているか
- 床面と机上の拭きムラがないか
- 入退室のあいさつは正しくできているか
- 効率的な手順で作業をしているか
- 作業動作に無理がなくリズム感があるか

■この競技種目に関係する職種で活躍している人々

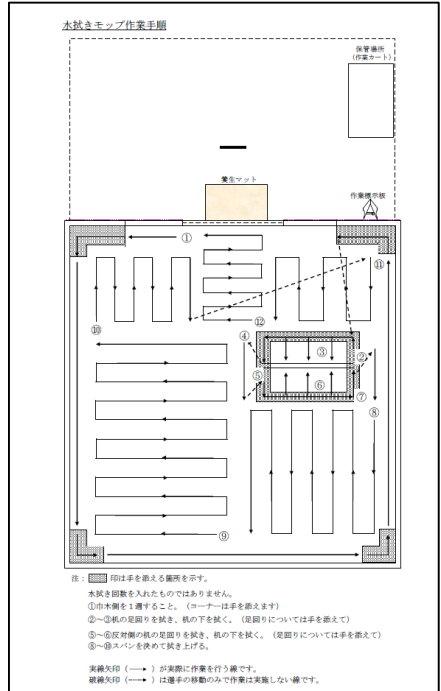
働く場所は、ビルメンテナンス会社、特例子会社（清掃部門）、企業（清掃担当部門）等があります。作業の内容はそれぞれ違いがありますが、主に日常清掃（施設内各部位を毎日清掃する）・外回り・駐車場清掃（建物周りの清掃）又は定期清掃（床洗浄・ガラス洗浄）といった作業を行っています。日々清掃技術を磨き、各職場で活躍しています。

課題例

令和3年度静岡県障害者技能競技大会(アビリンピック)
「ビルクリーニング」競技課題
課題 弾性床材事務所清掃ビルクリーニング競技課題

時間： 10分

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材を準備する	作業に必要な資機材は、すでに会場に準備されている(必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと) 1. モップの柄の長さを調整する。 2. ダスタークロスをヘッドに装着する。	資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。 柄は所定の位置の位置に立てモップヘッドはコート上部の所定の位置に置く。	資機材の点検終了後係員の指示に従い、所定の位置に立つ
競技開始	審判員の始めの合図で「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手をあげ、礼をする。	「始めます」と作業開始を申告する。
作業準備	作業カートを保管場所から作業場所へ移動し、作業標示板を立てる。	作業しやすい場所へ移動し、作業標示板を立てる。	
入室のあいさつ	入り口にて室内に向かって入室のあいさつを行う。	「失礼します」等、一声を出して入室する。	



競技風景

